

**ネットヨタ仙台株式会社様より
ご寄付と車両のご寄贈をいただきました!**

ネットヨタ仙台株式会社(代表取締役社長:三浦 勇治)様より、30万円のご寄付、及び県内で生産されている車両「シエンタ」のご寄贈をいただきました。昨年3月25日(木)には贈呈式が行われ、三浦社長(右)より本会の本木会長(左)へ目録の贈呈がありました。ネットヨタ仙台様は、毎年チャリティイベントを行っており、今回の寄付で35回目を迎えます。ご支援ご協力で心より感謝申し上げます。



**明治安田生命保険相互会社様よりご寄付を
いただきました!**

明治安田生命保険相互会社は、コロナ禍の影響により各地域で支援を必要とする自治体や医療機関、福祉団体等を支援するため、「私の地元応援募金」を実施し、本会へ337,500円のご寄付をいただきました。昨年9月16日(水)には、仙台支社において贈呈式が行われ、田村 良純 支社長(左)より本会 本木会長(右)へ目録の贈呈がありました。ご支援ご協力で心より感謝申し上げます。



**10月1日より全国一斉に
赤い羽根共同募金運動が展開されました!**

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が全国で猛威を振るい、共同募金運動の展開が危惧される状況でしたが、関係団体・者のご尽力とご協力により、感染防止に十分に配慮したかたちで全国一斉に展開することができました。皆様に心より感謝申し上げます。



※気仙沼市共同募金委員会 街頭募金の様子



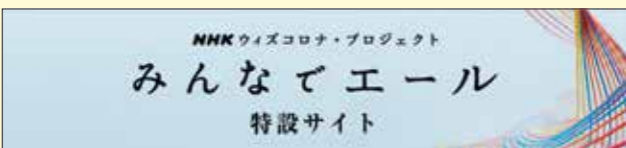
**第66回宮城県社会福祉大会が
開催されました!**

昨年11月5日(木)、仙台サンプラザホテルにおいて第66回宮城県社会福祉大会が開催されました。本大会は永年にわたり本県の社会福祉の発展にご尽力頂いた方々を顕彰することを目的として開催しております。第66回大会では、本会より20団体、539名の篤志寄付・奉仕功労者に表彰及び感謝状を贈呈いたしました。共同募金事業への皆様のご協力で心から感謝申し上げます。



**NHKとのコラボプロジェクト
「みんなでエール」を展開しました!**

NHKは公共メディアとして、コロナ禍において社会で頑張っている人々に、ニュースや様々な番組などを通じた情報提供を行っています。そのプログラムの一環として、「NHK歳末たすけあい・海外たすけあい」を共催している共同募金会、日本赤十字社が実施しているコロナ禍における支援活動と連携した企画番組が放送されました。その結果、NHK歳末たすけあい募金に多数の大口寄付が寄せられています。ご支援いただきました皆様に心から感謝申し上げます。



**第9弾「むすび丸ピンバッジ募金」で
みやぎの子ども食堂を応援しよう!**

今年も仙台・宮城観光キャラクター「むすび丸」とのコラボピンバッジを作製し、「むすび丸ピンバッジ募金」を行います。この募金は制作費を除き、宮城県内で子ども食堂等を運営する団体への助成に活用します。10月より頒布いたしますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



※イラストはイメージです。実物と多少異なります。

赤い羽根 だより



社会福祉法人 **宮城県共同募金会**

(発行)仙台市若林区新寺一丁目4番28号
TEL 022-292-5001
FAX 022-292-5002
URL : http://www.akaihane-miyagi.or.jp/



皆さまの温かい善意に支えられ「赤い羽根募金運動」は、
今年も10月1日から全国一斉にスタートします。
～ほんの小さなやさしさで広がる大きな支援の輪～

令和3年度 共同募金運動目標額

総額 **343,483,000 円**

内訳

赤い羽根募金 **265,897,000 円**

歳末たすけあい募金 **69,586,000 円**

NHK歳末たすけあい募金 **8,000,000 円**

県域助成目標額180,889,530円は、県内の社会福祉施設等の整備や、県域で活動するNPO等への助成として活用されます。また、市町村域助成目標額85,007,470円は、皆さまがお住まいの身近な地域での福祉事業に活用されます。

新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人々が安心して暮らせることができるよう、見舞金や地域の見守り活動等に活用されます。

福祉施設や団体等に対する、車両整備や年末年始の行事費、児童養護施設等に入所する児童への普通自動車運転免許取得支援に活用されます。

「共同募金」について

赤い羽根共同募金は、民間の運動として1947年(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。当初は戦後復興の一助として、福祉施設を中心に資金支援する活動としての機能を果たしてきました。

その後、「社会福祉事業法(平成12年社会福祉法に改正)」のもと、「民間の社会福祉の推進」に向けて、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。

そして75年がたった今、社会が大きく変化する中で、近年の取り組みとして、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する事業や、市民のやさしさや思いやりを届ける住民主体の運動として推進しています。

赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」です。



あなたと私は、赤い羽根でつながっている。

赤い羽根共同募金

ポスターモデル: 桜井日奈子さん

ナビゲーター/赤羽ファミリー

安心・安全・低燃費といえはやっぱりアクア。

驚きの低燃費 33.6 km/L

燃料消費率(国土交通省審査) WLTCモード Z・Gグレード 2WD(FF)

Photo: Z(2WD) エンジン: 1.5L 4気筒 16V 1600cc 195-55R16 タイヤ: 16インチ

サボカー(セーフティ・サポートカー)は、自動ブレーキ、ペダル踏み間違い発進抑制装置など安全運転を支援する装備を搭載し、高齢者を含む全てのドライバーの安全をサポートします。

NEW AQUA

新型アクア 1.5Z
2WD 電気式無段変速機 5人乗り [MPK11-AHXEB]

車両本体価格 **240.0万円** (消費税込)

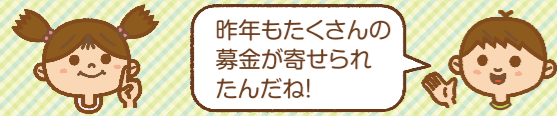
青いトヨタのおみせ

ネットヨタ仙台

☎0120-12-0010 本 社 / 仙台市宮城野区日の出町2丁目2-43
受付時間 / 9:00~17:30 (全店休業日: 第1月曜日定休)

ネットヨタ仙台

令和2年度 共同募金運動結果について



赤い羽根募金

292,534,039円

県域 172,856,384円

市町村域 119,677,655円

歳末たすけあい募金

84,965,229円

地域歳末 68,964,698円

NHK歳末 16,000,531円

総計 **377,499,268円**

令和2年度 収入支出決算報告書

宮城県共同募金会の令和2年度決算をご報告いたします。皆さまからお寄せいただいた寄付金は、令和3年度に社会福祉施設や社会福祉団体、そして社会福祉協議会等が行う地域の福祉活動など様々な事業に使われます。決算時には、この事業費は「未交付配分金」として計上され、翌年度すみやかに実施団体へ送金されます。

■貸借対照表

令和3年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	452,890,003	流動負債	244,649,607
現金預金	449,451,466	事業未払金	519,158
事業未収金	3,342,737	その他の未払金	250,740
未収金	1,240	未交付配分金*1	214,358,279
立替金	1,540	未交付災害義援金*2	197,538
前払金	500	預り金	5,867,506
前払費用	73,320	賞与引当金	1,456,386
仮払金	19,200	災害等準備金	22,000,000
固定資産	53,193,399	固定負債	12,620,540
基本財産	35,316,800	退職給付引当金	12,620,540
土地	12,200,000	負債の部合計	257,270,147
建物	20,116,800	純資産の部	
特定預金	3,000,000	基本金	3,000,000
その他の固定資産	17,876,599	第1号基本金	3,000,000
建物	1,117,672	国庫補助金等特別積立金	
車輜運搬具	1	その他の積立金	4,000,000
器具及び備品	138,386	難病支援積立基金	4,000,000
退職給付引当金資産	12,620,540	次期繰越活動増減差額	241,813,255
難病支援基金積立資産	4,000,000	(うち当期活動増減差額)	25,508,590
		純資産の部合計	248,813,255
資産の部合計	506,083,402	負債及び純資産の部合計	506,083,402

*1 共同募金は集まった募金を助成計画に基づき翌年度に助成する仕組みです。助成団体については、本会の配分委員会で厳正な審査によって決定されます。この決定された助成金(事業費)は、決算時「未交付配分金」に計上し、翌年度に社会福祉等の団体へ助成され、社会福祉の推進に役立てられています。

*2 2年度末に全国から寄せられた台風19号災害義援金と他県災害義援金です。決算時「未交付災害義援金」として計上しますが、翌年度4月に全額を宮城県及び被災県共同募金会へ送金済みです。

ありがとうメッセージ

「赤い羽根共同募金の助成を受けた施設・団体よりたくさんの
ありがとうメッセージが届いています！」

社会福祉法人 ことぶき会 ケアハウスはまなすの里 (東松島市)

キッチン、配膳台が老朽化し、グラグラしておりました。食器をセットする際に、配膳台の足の部分がガクッとさがり、食器が壊れてしまったこともあり、今回修繕させていただきました。収納も多くなり、「丈夫で使いやすい」、「盛り付けがしやすくなった」という声が聞かれます。利用者様に美味しい食事を提供するためにも大事に使わせていただきます。本当にありがとうございました。



公益財団法人 宮城県母子福祉連合会 (仙台市)

新型コロナウイルス感染症防止のため、制限されるなかでの親子交流事業実施となりましたが、参加者の皆さまからは、「子どもたちのやりたい!行きたい!に答えることができた」、「ひとりで抱えることが多かったが、相談できる友達ができた」と多くの声が寄せられました。今後も、仕事・家事・子育ての責任を一人で担っているひとり親の情報共有の場づくりを企画していきたいと考えております。本当にありがとうございました。



みんな食堂実行委員会 (南三陸町)

年間予定を全て実施することができずでしたが、創意と工夫を重ね、テイクアウトやデリバリーを行うことで、新たな住民の顔が見えたり、お手伝い頂いたりたくさん収穫がありました。物事をマイナスに捉えず、やれることを探しながらみんな食堂を継続していかれたらと思っています。多くの協力とご支援に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



募金の使い道について

1. 県域募金

① 社会福祉施設整備事業(車両、施設の修繕、備品購入)	10件	6,910,000円
② 社会福祉団体支援事業	13件	5,110,000円
③ 子育て支援事業	1件	300,000円
④ 参加と協働による新たな地域共生社会づくり支援事業	6件	5,100,000円
⑤ 住民力・地域力・福祉力を高める支援事業(継続)	43件	1,679,000円
⑥ みやぎチャレンジプロジェクト	38件	46,305,000円
⑦ 自立サポートハウス助成事業	3件	2,498,000円
⑧ みやぎ子ども食堂支援事業	-	2,000,000円
⑨ 難病救済活動支援事業	1件	350,000円
⑩ 東日本大震災被災地支援事業	1件	1,500,000円
⑪ 児童養護施設自立支援事業	-	2,000,000円
⑫ 小規模災害支援金	-	4,000,000円
⑬ 緊急助成支援事業	-	1,000,000円
⑭ 住民力・地域力・福祉力を高める支援事業(新規)	-	5,000,000円
⑮ 東日本大震災支援車両整備助成事業	-	8,000,000円
⑯ 災害等準備金積立	-	11,000,000円
⑰ 奉仕活動推進費	-	13,388,056円
⑱ 次年度運動経費	-	56,716,328円
合計	116件	172,856,384円

2. 市町村域募金

① 配食サービス等高齢者支援事業	81件	45,662,486円
② 障害児・者の社会参加支援事業	20件	3,035,000円
③ 児童・青少年の健全育成支援事業	86件	12,982,566円
④ サロン活動等住民全般支援事業	167件	51,379,513円
⑤ 奉仕活動推進費	35件	6,618,090円
合計	389件	119,677,655円

3. 地域歳末たすけあい募金

① 配食サービス等高齢者支援事業	35件	20,710,787円
② 障害児・者の社会参加支援事業	6件	1,595,450円
③ 児童・青少年の健全育成支援事業	20件	4,204,516円
④ 課題を抱える人の支援等住民全般支援事業	56件	42,062,402円
⑤ 次年度助成金	-	391,543円
合計	117件	68,964,698円

4. NHK歳末たすけあい募金

① 車両整備事業	3件	4,490,000円
② 施設・団体の年末年始の行事費	38件	1,120,000円
③ 児童養護施設等普通自動車免許取得支援事業	12件	1,800,000円
④ 奉仕活動推進費	-	586,575円
⑤ 次年度助成金	-	8,003,956円
合計	53件	16,000,531円



HPアドレス <http://www.akaihane-miyagi.or.jp/>

詳しい募金の使い道、助成先の詳細については本会ホームページをご覧ください。

支える人を支えよう!

特集

「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援 全国キャンペーン」第2弾
いのちをつなぐ支援活動を応援します!



令和2年、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会不安が増大する中、共同募金会は、同年3月よりいち早く「臨時休校中の子どもと家族を支えよう 緊急支援活動助成事業」を開始し、5月からは「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」を実施する中、子どもや家族の支援、フードバンク活動や様々な理由で居場所を失った人への緊急支援等を行う法人・団体に対して、全国で計2,051団体、約6億1千8百万円(うち宮城県内:73団体、約2千8百69万円)の助成支援を展開しました。

この全国キャンペーンによる助成は、コロナ禍における全国の多くの団体活動に役立てられており、依然感染拡大の収束が見えない中、今後も継続した助成支援を求める声が高まっています。

そこで令和3年度も、全国の共同募金会では、「新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン(第2弾)」として、「いのちをつなぐ支援活動を支える」ことをテーマに、感染症の影響の長期化とともに増加した生活に困窮している方などの支援や、いのちに直接関係するような深刻な課題に対する活動へ継続した助成支援を行い、1人でも多くの方々、1つでも多くの支援活動を支えていきます!

【助成活動(例)】

民間の相談活動の支援

- 社会的な孤立や生活困窮、自殺の悩みなど、民間で行われている相談活動。
- 国籍や言語の壁から必要な支援や情報が届かない外国人にルーツを持つ人々への支援活動。

食糧や居住に係る生活支援活動の支援

- 食に困っている人への支援(フードバンク等の食支援)や、住まいに困っている人への居住支援、孤立防止やDVシェルターなどの居場所づくり等の活動

